

「素材+α」の付加価値提供企業へと変革し 持続的な成長を実現していきます

代表取締役 社長執行役員

田中 信二



2024年4月、私は代表取締役社長執行役員に就任し、経営の舵取りを引き継ぎました。同時に、当社は長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」に向けた重要なステップである「第4次中期経営計画(2024年度～2027年度)」をスタートしました(詳細は中面をご覧ください)。近年、アルミニウムは気候変動や海洋プラスチックごみ問題などの地球環境課題の解決に資する素材として注目され、需要が拡大しています。この成長機会を逃さず獲得していくこと、そして当社が業界リーダーとして世界の課題解決に貢献する使命を果たしていくことに、大きな意欲と責務を感じています。

第4次中期経営計画では、素材提供企業から「素材+α」の付加価値提供企業へと変革することをコンセプトとし、「リサイクル推進」「素材+加工ビジネスの拡大」「先端分野のサプライチェーン安定化への貢献」「新領域の拡大」の4つの分野で価値創出の拡大に取り組みます。結果として最終年度の2027年度には、売上収益10,500億円、事業利益※600億円などの財務目標を達成することを目指しています。

こうした計画と収益拡大への決意をもってスタートさせた2024年度の上半期は、主力となる缶材の販売が国内外共に好調に推移しました。さらに第1四半期までの円安に推移し

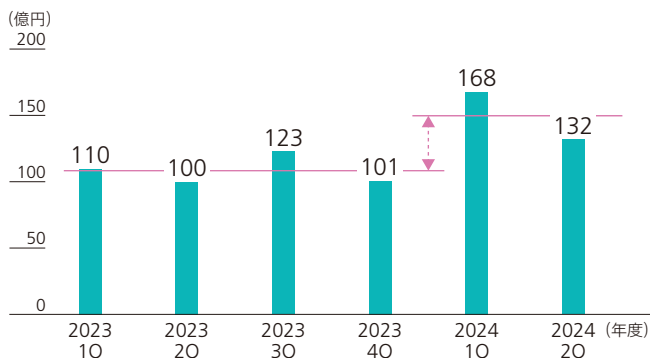
た為替影響もあり、売上収益は4,871億円(前年同期比522億円増)、事業利益は300億円(前年同期比90億円増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は167億円(前年同期比122億円増)と、増収増益となり、通期業績予想の達成確度は高まったと考えています。

下半期は、グローバルでの缶材の販売は引き続き堅調に推移する見込みですが、EV(電気自動車)の一時的な需要鈍化の影響が懸念されることから、通期業績予想については、売上収益9,300億円(前年度比372億円増)、事業利益455億円(前年度比21億円増)、親会社の所有者に帰属する当期利益205億円(前年度比66億円増)を据え置き、今後の原材料価格や為替の変動といった外部環境の影響を見極めます。

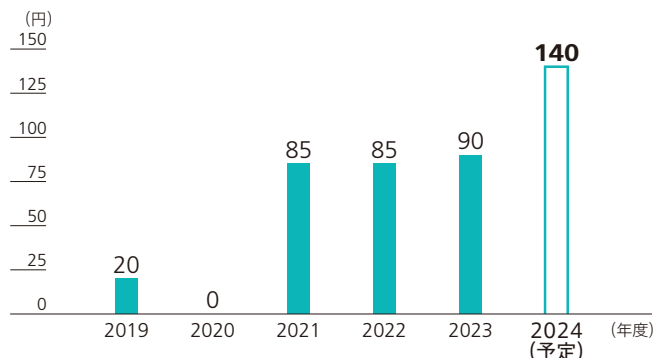
配当は株主の皆様に対する利益還元の重要な施策と考えているため、還元方針を堅守し、1株当たり配当金を前年度比50円の増配となる年間140円(中間70円)とします。今後も持続的な成長を実現していく当社にご期待いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの

四半期事業利益推移



1株当たり配当金



“軽やかな世界”の実現へ

長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」の実現に向け、
3フェーズに分けた中期経営計画を推進

重点方針	
1 成長戦略・付加価値戦略	価値創出拡大による収益の最大化と収益率の向上 ①リサイクル推進 ②素材＋加工ビジネスの拡大 ③先端分野のサプライチェーン安定化への貢献 ④新領域の拡大
2 事業の強靱化	筋肉質でしなやかな体質の強化 ①環境変化への対応力強化 ②資産効率化 ③自動化・無人化(安全性・生産性向上)
3 基盤の強化	価値創出と安定した事業運営を支える基盤の強化 ①多様な人材の獲得・育成とエンゲージメント向上 ②技術・ブランドなどの無形資産の獲得・強化・活用 ③デジタルを活用した競争力・組織力の強化 ④事業間・部門間連携やサプライチェーン・バリューチェーンとの連携・協業のさらなる推進による提案力の強化



長期経営ビジョン

UACJ VISION 2030

アルミニウムを究めて、 サステナブルな社会の実現に貢献する

4つの貢献領域

- 成長分野や成長市場の需要捕捉により、より広く社会の発展に貢献する
- 素材＋αで、バリューチェーンおよびサプライチェーンを通じた社会的・経済的な価値の向上に貢献する
- 新規領域への展開により、社会課題の解決に貢献する
- 製品ライフサイクル全体を通じて、環境負荷の軽減に貢献する

新規分野



モビリティ
人々の移動・交通に
軽やかさを…



ライフスタイル・ヘルスケア
日々の暮らしや労働に
軽やかさを…



環境・エネルギー
これからの地球環境に
軽やかさを…

マテリアリティ

- 「アルミニウムの循環型社会」の牽引(サーキュラーエコノミー)
- 気候変動への対応
- 自然の保全と再生・創出(ネイチャーポジティブ)
- 人権の尊重
- 多様性と機会均等の浸透(DE&I)

目指す姿

アルミニウムを究めて
環境負荷を減らし、
軽やかな世界へ。

第4次中期経営計画

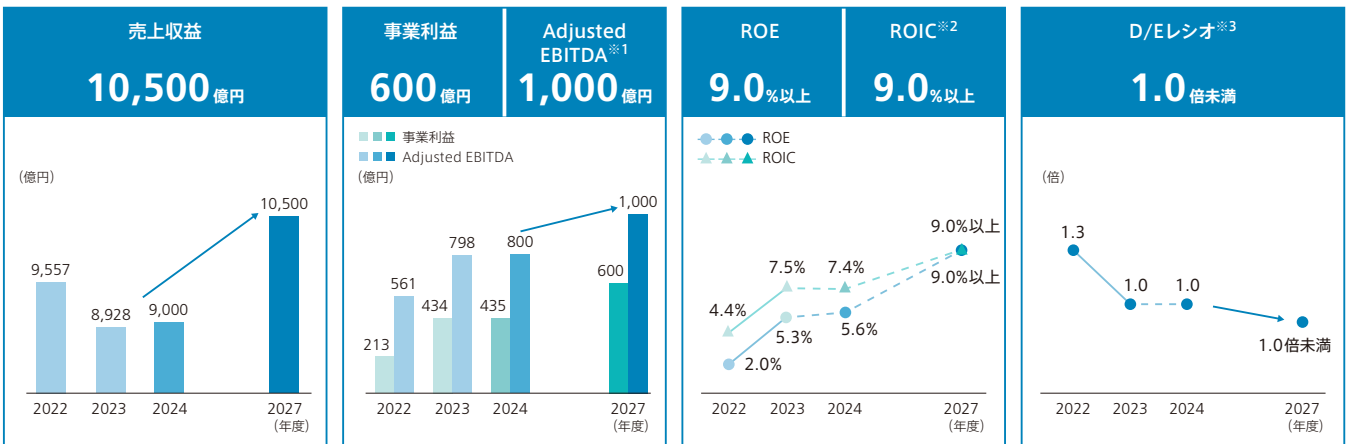
第4次中期経営計画(第4次中計)は、長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」(VISION2030)の実現に向けてバックキャストिंगし設定したもので、VISION2030実現の蓋然性を高めるとともに、第3次中期経営計画で高めた稼ぐ水準をもう1段高めていくものです。

第4次中計では、素材提供企業から「素材＋α」の付加価値提供企業への変革を目指します。4つの付加価値分野で価値

創出拡大を図る「成長戦略・付加価値戦略」、経営環境変化への柔軟な対応や資産効率の向上を可能にする「事業の強靱化」、人的資本やブランド価値向上など、価値創出と安定した事業運営を支える「基盤の強化」を重点方針として取り組んでいきます。

グループ全社員が一丸となって、この計画を着実に実行することにより、第4次中計の最終年度である2027年度には、下に掲載した財務目標を達成することを目指します。

財務目標

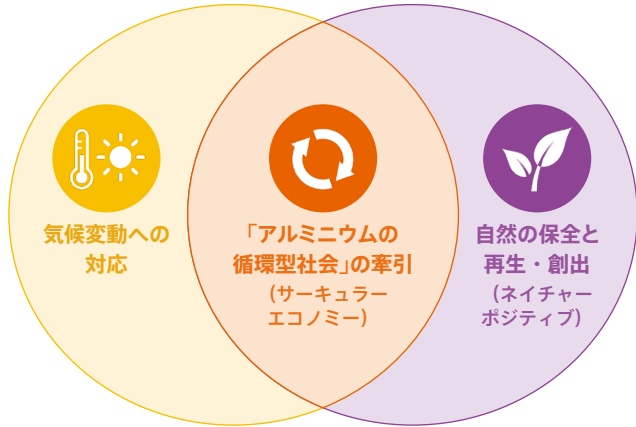


マテリアリティ

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

当社は、アルミニウムがもつ環境性能を最大限に発揮し、美しく豊かな地球がずっと続く未来に向けた行動に努めています。このなかで環境分野のマテリアリティとして、「アルミニウムの循環型社会」の牽引(サーキュラーエコノミー)、気候変動への対応、自然の保全と再生・創出(ネイチャーポジティブ)の3つを特定しています。その中心を担うのは、「アルミニウムの循環型社会」の牽引(サーキュラーエコノミー)です。アルミニウムのリサイクルの推進を中心に、環境負荷を低減することで、当社ならではの提供価値を創出していきます。

環境分野のマテリアリティの関係



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

当社は、広く社会に貢献する企業であるためにはステークホルダーの期待を理解し信頼に応えていくことが重要と考えています。その考えのもと、Well-beingに関する「人権の尊重」「多様性と機会均等の浸透(DE&I)」をマテリアリティとして、「人材育成」を重点方針、「労働安全衛生」を共通基盤に位置づけ、取り組みを推進しています。当社で働く従業員一人ひとりが健康で幸せを感じる毎日を送り、それが周囲の人々に広がっていく、そのような社会の実現に貢献していきます。

人的資本関連の体系



決算ハイライト(連結)

第2四半期累計業績

	2023年度	2024年度	前年同期比
売上収益	4,349億円	4,871億円	522億円
事業利益 ^{※1}	210億円	300億円	90億円
棚卸資産 影響等	△81億円	57億円	138億円
営業利益	129億円	357億円	228億円
当期利益 ^{※2}	45億円	167億円	122億円
Adjusted EBITDA ^{※3}	390億円	487億円	97億円

※1 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの
※2 親会社の所有者に帰属する当期利益
※3 EBITDA－棚卸資産影響等

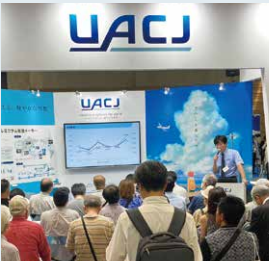
通期業績

	2023年度	2024年度 (見込み)	前年度比
売上収益	8,928億円	9,300億円	372億円
事業利益 ^{※1}	434億円	455億円	21億円
棚卸資産 影響等	△120億円	10億円	130億円
営業利益	314億円	465億円	151億円
当期利益 ^{※2}	139億円	205億円	66億円
Adjusted EBITDA ^{※3}	798億円	820億円	22億円

NEWS
お知らせ

「日経IR・個人投資家フェア2024」に出展

8月23日からの2日間、今年で19回目を迎えた日本最大級のIRイベント「日経IR・個人投資家フェア2024」に出展しました。当社ブースにも1,000名を超える来場者があり、田中社長による会社説明会では立ち見が出るほど盛況でした。ブースにお越しいただいた方からは、アルミニウムのリサイクルや今後の需要動向への質問などをいただき、当社への期待・関心の高さを実感しました。



サステナビリティ説明会を開催しました

当日の開催内容を収録した動画と資料は、右の二次元コードでリンクしたページに掲載しています。▶



株主様工場見学会を開催

10月6日に福井製造所、10月20日に名古屋製造所において株主様工場見学会を開催し、製造工程をご覧いただきました。さらに、福井製造所ではアルミ板からアルミ缶を作る実験装置を、名古屋製造所ではR&Dセンターで実際にアルミニウムに触れてその特色を体感いただきました。参加された方々に当社事業への理解を一層深めていただき、多くのご好評をいただきました。



統合レポートを発行しました

今年も統合レポート「UACJレポート2024」を発行しました。右の二次元コードでリンクしたページからご覧ください。▶



株式情報(2024年9月30日現在)

基本情報

上場市場	東証
証券コード	5741
株式の売買単位	100株
発行可能株式総数	170,000,000株
発行済株式総数	48,328,193株 (※自己株式68,974株を含む)
株主数	21,890名
決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	毎年3月31日 (中間配当を行う場合の配当基準日は毎年9月30日)
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告方法	電子公告 https://www.uacj.co.jp/ (やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します)

大株主

株主名	持株数 ^{※2} (100株)	持株比率 ^{※3} (%)
古河電気工業株式会社	94,365	19.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	47,895	9.92
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	45,704	9.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	22,053	4.56
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	16,671	3.45
ECM MF	14,500	3.00
MLI FOR SEGREGATED PB CLIENT	10,050	2.08
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	7,955	1.64
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	7,855	1.62
UACJグループ従業員持株会	7,754	1.60

※2 100株未満を切り捨てて表示しています。
※3 自己株式(68,974株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株主通信についてのアンケートにご協力ください!

株主の皆様のご意見・ご要望を株主通信および今後の活動などの参考とさせていただくため、アンケートを実施いたします。(所要時間：5分程度)
お手数ではございますが、アンケートにご協力をお願いします。
アンケートご回答の締め切り:2025年1月9日(木)
※アンケート回答にかかる通信料は、株主さまのご負担となります。

こちらより
アンケートサイトにアクセスし、
ご回答をお願いします
<https://questant.jp/q/5WSO7E90>



株式会社UACJ

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番2号
東京サンケイビル
Tel. 03-6202-2600(代表) Fax. 03-6202-2021
<https://www.uacj.co.jp/>



“UACJ”、**UACJ** は、日本、米国、中国および欧州連合商標(EUTM)などにおける株式会社UACJの登録商標です。